

スピんケア24つむぎ

# 事例紹介について



株式会社SPIN



# 利用者①情報 M様

利用者情報		支援内容	
利用者情報	要介護 2 妻と二人暮らし（認知症あり）	毎日	食事の準備・提供、服薬確認、 下着の確認、水分補給、室温 調整
主な疾患	水銀中毒による両下肢運動失調 症、頸部脊柱管狭窄症、脳梗塞、 腰椎椎間板ヘルニア	必要時	シャワー浴、更衣（週 2 回）
導入経緯	R5.3月長男が訪問時玄関にて転 倒。順心病院に救急搬送。右大 腿骨転子部骨折・肋骨多発性骨 折で保存的治療で経過観察。施 設入所を提案されるが、金銭面 の問題があり、介護サービス を利用しながら在宅生活を送る。	コール内容	ADL低下時緊急時、随時対応、 随時訪問

ADL状況	
移乗	伝い歩き
移動 移動の用具	なし
食事	準備・セッティングが必要
着脱	一部介助
排泄 排泄用具 排泄回数	トイレ リハビリパンツ使用 不明
入浴 入浴方法	してない

サービス導入前のIADL状況	
調理 配膳	妻
掃除	ご家族
洗濯	ご家族
服薬 服薬回数 服薬管理	服薬できていなかった
買物	ご家族
お金の管理	ご家族

## 在宅のポイント



サービス開始と同時に訪問看護導入。妻がどこまでのことができるのか不明だったが、頻回の訪問により生活状況の把握を行えるようになった。

# サービス提供事例 1

## 定期訪問

利用者情報	要介護2
主な疾患	心不全
導入の経緯	生活状況の把握・食事の提供

## 提供サービスについて

毎日	食事の準備・下着確認・服薬確認・安否確認・買い物
必要時	シャワー浴・更衣介助
随時	コール対応

## サービス導入後の改善ポイント

改善項目	妻の状況を見ながら食事の準備・提供を行い、生活の把握を行う。訪問により服薬確認が確実に出来るようになった。
------	---

## その他メリット・デメリット

メリット	訪問看護と連携することにより、的確なアドバイスをいただくことができた
デメリット	なし

# サービス導入後の生活について (M様)

## 利用のメリット



生活状況の把握ができるようになった。妻の状況を知ることで、必要なサービスの提供ができるようになった。確実に服薬ができるようになった。

## 利用の課題



認知症による空腹感の訴えがあり、妻に強く当たってしまうことがある。  
排泄の処理が完結できず、布団・衣類が汚染していることがある。  
金銭的な問題から訪問看護が終了し、健康面でのフォローが受けられない。

# 利用者①情報 M様

		支援内容	
利用者情報	要介護 1	毎日	食事の準備・提供、服薬確認、 下着の確認、水分補給、室温調整
主な疾患	認知症、高血圧、鉄欠乏性貧血、 慢性心不全（高度）	必要時	シャワー浴、更衣（週 2 回）
導入の経緯	同居の夫の訪問時、玄関外で転倒されているのを発見。区分変更にて要介護 1 となり、サービス開始となる。	コール内容	

ADL状況	
移乗	独歩
移動 移動の用具	自立
食事	炊飯はできるが調理は不可
着脱	自立
排泄 排泄用具 排泄介助数	自立 布パンツ使用 不明
入浴 入浴方法	なし

サービス導入前のIADL状況	
調理 配膳	自立
掃除	ご家族
洗濯	ご家族
服薬 服薬回数 服薬管理	訪問看護にて管理、服薬できていなかった
買物	ご家族
お金の管理	ご家族

## 在宅のポイント



夫のサービス開始と同時に訪問看護が先に介入。要介護となり定期巡回のサービスを利用開始することとなり、各自積ん服薬できるようになった。

# サービス提供事例 2

## 定期巡回導入によるADLの変化事例

利用者情報	要介護 1
主な疾患	認知症、貧血、慢性心不全（高度）
導入の経緯	夫と二人暮らし、ADLの低下

## 提供サービスについて

毎日	食事の準備・提供、服薬確認、下着の確認、水分補給、安否確認
必要時	シャワー浴
随時	

## サービス導入後の改善ポイント

改善項目	服薬が確実にできるようになった。生活状況が分かり必要なサービスが把握できるようになった
------	---

## その他メリット・デメリット

メリット	訪問看護と連携することにより、的確なアドバイスがいただくことができた。
デメリット	なし



# サービス導入後の生活について (M様)

## 利用のメリット



確実に服薬ができるようになった。  
生活状況を把握できるようになり、必要なサービスの提供ができるようになった。

## 利用の課題



夫からの暴力行為の把握、便処理が完結できず、リハビリパンツを履き替えることができずに布団や衣類を汚染させてしまう。  
金銭的な問題から訪問看護が終了し、健康面でのフォローが受けられない。

# 利用者①情報 J様

		支援内容	
利用者情報	要支援 1 → 区分変更	毎日	オムツ交換
主な疾患	膵臓癌末期	必要時	更衣介助、移動・移乗介助
導入の経緯	妻と二人暮らし。ADL自立し、数日前まではトイレにも行けていた。急激にADL低下、状態悪化し地域包括からケアマネに連絡あり。自宅訪問しそのままサービス開始。	コール内容	排便、転倒時、急変時

ADL状況	
移乗	不可
移動 移動の用具	不可
食事	自立
着脱	全介助
排泄 排泄用具 排泄介助数	全介助 オムツ・パット使用 不明
入浴 入浴方法	なし

サービス導入前のIADL状況	
調理 配膳	妻
掃除	妻
洗濯	妻
服薬 服薬回数 服薬管理	病院受診にて処方されていた。 妻が管理
買物	妻
お金の管理	妻

## 在宅のポイント



急激な状態の変化に妻が状況把握できず、在宅医もなく定期巡回のみサービス開始。オムツ交換・安否確認にて訪問していた。

# サービス提供事例 2

## 定期巡回導入によるADLの変化事例

利用者情報	要支援 1 → 区分変更 → 要介護 2
主な疾患	すい臓がん末期
導入の経緯	妻と二人暮らし、状態の急変

## 提供サービスについて

毎日	オムツ交換、安否確認
必要時	清拭、更衣介助
随時	排便時、転倒時

## サービス導入後の改善ポイント

改善項目	定期的なオムツ交換による清潔保持、妻の負担の軽減
------	--------------------------

## その他メリット・デメリット

メリット	定期的な訪問により、妻の不安軽減が図れた。
デメリット	なし

# サービス導入後の生活について (J様)

## 利用のメリット



定期的に訪問することにより、清潔の保持、状態観察ができるようになった。

## 利用の課題



急激な状態の悪化により、医療面でのサポートが受けられず意識低下にて救急搬送し、病院で亡くなられた。